

教育センターニュース

ミネルバ

106号

佐賀県教育センター <http://www.saga-ed.jp/>
〒840-0214 佐賀県佐賀市大和町大字川上
TEL 0952-62-5211 FAX 0952-62-6404

特集記事

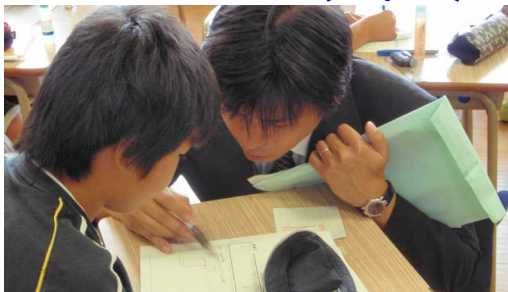
- 授業が命 (講座授業報告)
- 特色ある学校の紹介
- 頑張っています長期研修生！
- 教育論文・マルチメディア教材入賞者発表！



授業が命

教育センターの研究協力校である春日北小学校・大和中学校・致遠館高等学校で行われた、所員による講座授業の様子を紹介します。今年度は、15の教科・領域で新しい教材の導入や指導の在り方について提案を行いました。『 』内は受講者の声です。

小学校算数科(10/12)



『習熟度別少人数指導の課題設定方法などが参考になりました。また、課題設定の重要性を感じました。』

小学校英語活動(10/16)



『"What's this?"と尋ねる必然性をもたせる工夫が参考になりました。英語での問い掛けによく反応していました。』

小学校国語科(10/18)



『PISA型読解力を付ける授業を実際に見ることができ、参考になりました。私もやってみたいと思います。』

中学校技術科(9/27)



『授業における情報機器の活用方法が参考になりました。学校に戻って工夫してやってみたいと思います。』

中学校道徳(9/28)



『研究授業の中で、道徳的価値が高まった男の子の姿を見て嬉しくなり、エネルギーをもらいました。』

高校化学(9/26)



『スモールスケールでの薬品の準備、廃液処理にも手間が掛らず、大変工夫されていました。』



特色ある学校づくりの紹介

現在、佐賀県内には小学校175校、中学校102校、高等学校46校、特別支援学校9校が設置されています。ミネルバでは各学校が進めている特色のある学校づくりを紹介しています。他校の取り組みを知る機会としてご活用ください。



神埼市立西郷小学校

「わかる喜び、学ぶ楽しさを味わわせる授業の創造をめざして」

本校は神埼市の中央に位置し、脊振山系の麓の広大な田園地帯に囲まれた10クラス243名の学校です。

平成17年度より文部科学省「学力向上拠点形成事業」の委嘱を受け、「わかる喜び、学ぶ楽しさを味わわせる授業の創造 ～基礎・基本の定着を図る指導の工夫～」を研究テーマに取り組んでいます。初年度は算数だけの取り組みでしたが、2年目以降は国語・算数・理科・社会に研究の対象を広げ、各教科で思考力・表現力を育てることとしました。

授業において「わかる喜び、学ぶ楽しさを児童に味わわせる」ためには、児童の主体的な問題解決力を高めることが必要であると考えました。そこで、指導過程に個人で課題解決を目指すための「びっくりタイム」と、学び合いの活性化を図るための「わいわいタイム」を設定し、個と集団の学びの充実を図りました。今年度は、「学び合い」に重点を置いています。考えを深めさせるために、指導内容に応じて話し合いの視点を明確にしたり、形態(ペア・グループ・全体)を工夫したりしています。

さらに、学習の基盤づくりのために、支持的風土づくりや基本的な学習・生活習慣の定着を図る取り組みをしています。また、陰山メソッドによる「スキルタイム」を設定し、15分のモジュール方式の時間運用で音読と100マス計算等に取り組んでいます。音読では、言葉のリズムを楽しんでおり、声の出し方も徐々に大きくなってきました。100マス計算では、自己記録更新に喜ぶ姿が見受けられるようになりました。

これらの取り組みの結果、子どもたちは学習の見通しをもち、授業に一生懸命取り組むようになりました。また、集中力も向上してきました。今後も、基本的な生活習慣を重視し、地域や家庭の協力を得ながら学力の向上を目指していきたいと考えています。



有田町立西有田中学校

「地域・家庭を巻き込んだ食育」

本校は校舎の西側を有田川が流れ、西に国見山、東に黒髪山を望む豊かな自然環境に囲まれた10クラス285名の学校です。

昨年度から文部科学省スポーツ・青少年局「地域に根ざした学校給食推進事業」の委嘱を受け、本校、曲川小及び大山小の3校で研究に取り組んでいます。今回の指定は、自校調理方式の学校を対象としたもので、学校給食を通して食育の普及・啓発活動を行うことを主な目的としています。学校給食に地場産の食材を積極的に活用すること(地産地消)で、それらを教材とした地域に根ざした食育を推進しています。給食の主食には、おいしいと評判の町内産純棚田米を100%使用しています。また、研究には、地域の生産者やJA職員、食生活改善推進協議会や行政(農林建設課、学校教育課)など多くの方々が参加しています。

学校では、地域の食生活改善推進協議会の方々などの協力を得て、食育の授業、農業体験活動、親子料理教室、給食の試食会、生産者や調理員の方々との交流給食、家庭科での郷土料理の調理実習などに取り組み、地域を巻き込んだ研究を進めています。さらに家庭における食の関心を高めるために、情報満載の食育だより「パクパク」や啓発資料を発行しています。その結果、食を話題にする家庭が急増しました。また、保護者に「朝ごはんメニュー」や「地場産物を使った給食献立」を募集したところ、多くの応募があり、研究の手応えを感じているところです。

食育とは、「食を通して子どもを育てること」だと考えています。アンケートの結果を前年度と比較すると、朝食を摂ってこない生徒が目に見えて減っていることがわかりました。また、子どもたちの会話の中に食べ物に関する話題が頻繁に出てくるようになり、食に関して敏感になってきたことを実感しています。



佐賀県立唐津西高等学校

「実践的コミュニケーション能力を高める英語の指導」

本校は、今年度創立100周年を迎えた全日制普通科の学校です。平成3年4月、学科改編を行い、国際社会で活躍できる人材の育成を目指し普通科英語コースを設置しました。現在、710名の生徒が在籍しており、「知行合一」の実践をモットーとして教育活動に取り組んでいます。

平成18年4月、県内で初めて、文部科学省よりスーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール(通称SELHI:セルハイ)の指定を受け、3か年の予定で先進的な英語教育に取り組んでいます。中学校や佐賀大学と連携しながら、生徒の英語運用力(リーディング、リスニング、スピーキング、ライティング)の養成を目指す指導方法やカリキュラムの開発の研究を進めています。授業では、教師・生徒共に英語を70～80%使うことを目標にしており、できるだけ日本語訳に頼らない英語の授業を目指しています。そして、「何となくわかる」ではなく、「しっかりわかる」授業を行い、自分の考えを整理して相手に伝えることができるような生徒を育成しています。

生徒たちの英語を使おうとする意欲も高まり、授業中は英語の質問に英語で答える姿が見られるようになりました。また、英語でのディベートを取り入れ、論理的な思考力や表現力を高める授業を行うことによって、プレゼンテーションスキルの向上を目指しています。さらに、図書館では洋書を充実させ、英語の本に親しむ環境づくりをしています。

11月7日には、生徒同士が英語でディベートを行う授業を公開するなど、2年目の取り組みの成果を披露しました。最初は英語に対する反応が低かった生徒たちが、自ら英語で話し掛けてくるようになり、実践的コミュニケーション能力の高まりが感じられます。

生徒たちが、英語を通じて、伝えようとする大切さを学び、世界観を広げていってくれればと考えています。



頑張っています長期研修生！

半年間の研究に取り組んでいます

長期研修事業は、県内の学校教育における諸課題の解決を目指した研修制度です。長期研修生はそれぞれの研究内容を、平成20年2月14日(木)の教育実践交流会においてポスターセッション形式で発表する予定です。

教職員研修
教育センターの研修事業を紹介しています

- 研修講座案内
- 初任者研修
- 10年経験者研修
- 長期研修**
- 教育講演会
- 教育実践交流会

H18年度までの研修成果はこちら。



※ 昨年度のポスターセッションの様子。

研究 テーマ	研 究 課 題	所属校	氏 名	研究教科・領域等	研究 テーマ	研 究 課 題	所属校	氏 名	研究教科・領域等	研究 テーマ	研 究 課 題	所属校	氏 名	研究教科・領域等
A	読解力を高める国語科学 習指導の在り方	武 内 小学校	岩 永 圭 子	国 語	A	創造力、表現力を高める 芸術科学習指導の在り方	吉 田 小学校	熊本 由美子	図画工作	C	個や集団の成長を促す教 育的支援の在り方	外 町 小学校	堤 葉 月	生徒指導
		福 富 小学校	宮 崎 泰 仁	国 語			白 石 中学校	本 島 民 子	美 術			杵島商業 高等学校	○ 島 茜	生徒指導
		鍋 島 中学校	澁谷 由美子	国 語		鏡 中 中学校	福 山 賢 二	数 学	北 部 養護学校		前 山 齊	領域・教科を 合わせた指導		
	思考力・表現力を高める 学習指導の在り方	基 里 小学校	馬 場 克	社 会		中 学 校 1 学 年 数 学 ， 英 語 における効果的な T T ・ 少人数指導の在り方	大 浦 中学校	武 富 幸 就	数 学		盲 学 校	久 保 田 美 志	外国語 (英 語)	
		田 代 小学校	権 藤 暢 道	算 数	松 梅 中学校	南 里 貴 子	外国語 (英 語)	D	学習意欲を高め、理解を 深める I C T 活用の在り 方	有明東 小学校	小 川 弘 孝	国 語		
		科学的思考力を高める理 科学習指導の在り方	轟 小学校	杉 原 浩	理 科	B	よりよい生活を築こうと する力をはぐくむ指導の 在り方			春 日 北 小学校	國 平 剛 司	道 徳	砥 川 小学校	内 田 明
	伊万里 中学校		山 下 仁 士	理 科	東 与 賀 小学校			今 村 昇 治	特 別 活 動	研究テーマ記号分類 A：基礎学力の定着 B：豊かな人間性の育成 C：個別あるいは集団に応じた生徒指導，特別支援教育の充実 D：コンピュータを活用した指導方法の改善				
	佐 志 中学校		米 倉 維 恩	理 科	中 部 小学校			山 口 幸 志	総合的な学習の時間 (食 育)					
	佐賀工業 高等学校		松 高 和 秀	理 科 (化 学)										

教育論文・マルチメディア教材入賞者発表！

今年度の教育論文・マルチメディア教材の募集には、31編の力作が寄せられました。
審査の結果、次のように入賞校及び入賞者が決定しました。入賞校・入賞者のお名前と研究主題をお知らせします。入賞されたみなさん、おめでとうございます。

◆教育論文部門

《校内研究の部》

優良賞 武雄市立武内小学校 校長 福山 妙子 代表 教諭 川内 善信

研究主題 対話力の向上をめざす国語学習指導の研究
－読解読書領域の学習指導を基盤としながら－

奨励賞 唐津市立厳木小学校 校長 佐々木 文雄 代表 教諭 吉田 正

研究主題 自分の考えや思いを生き生きと伝え合う国語科学習の研究
－「読むこと」の指導を通して－（1年次）

《個人研究の部》

優秀賞 みやき町立北茂安小学校 教諭 田本 嘉昭

研究主題 思考・判断する力を高める社会科学習の指導の工夫
－ツールミンモデルを取り入れた討論活動を通して－

優秀賞 鳥栖市立鳥栖西中学校 教諭 日山 亮一

研究主題 学習意欲を高め、天体の位置関係に関する概念を育てるモデル教材に関する研究
－演示用とグループ学習用のモデル教材の製作と学習指導法の工夫－

優良賞 佐賀市立勸興小学校 教諭 森 隆久

研究主題 読む力の向上を目指した話し合い活動の指導の工夫
－討論活動モデルを使って－

優良賞 佐賀市立神野小学校 教諭 峯 慶太

研究主題 「考える力」を育てる授業の創造
－考えの「表現と練り合い」の連関を通じた算数科学習指導を通して－

優良賞 佐賀市立本庄小学校 教諭 本村 一浩

研究主題 意欲的に国際コミュニケーションに取り組む児童の育成
－文化の同質性に視点を置いた高学年英語活動の教材開発を通して－

優良賞 佐賀市立思斉小学校 教諭 中武 友子・岡田 淳・野崎 由美子

研究主題 子どもたちが互いに認め合いつながっていく学年経営の研究
－「あいあい活動」を通して－

奨励賞 佐賀北高等学校(通信制) 教諭 俵 正博

研究主題 「数学基礎」の指導方法の探求

奨励賞 多久市立緑が丘小学校 教諭 山口 繁子

研究主題 思考力を育む算数科の指導
－「対話」を学習活動の中心に据えて－

奨励賞 伊万里市立黒川小学校 教諭 中島 進

研究主題 学校の活性化をもたらし学校ホームページの役割

◆マルチメディア教材部門

優秀賞 伊万里市立牧島小学校 教諭 カ久 輝史

作品名 クリックゲーム集 マッキーランド



教育実践交流会のご案内

「子どもが輝く教育活動の改善と充実を求めて」をテーマに、今年度は下記の日程で開催します。交流Ⅰ～Ⅳの中で、27の分科会とワークショップを準備してお待ちしております。「交流Ⅱのみ参加」というように、一部の参加も可能です。詳細は配布チラシ及び教育センターHPをご覧ください。「研修講座申込システム」により学校で一括してお申し込みください。

期 日：平成20年2月14日(木)

－ 内 容 －

- 教育センター所員や長期研修生による各教科領域等の研修・研究の成果発表
- 時代の変化に対応した専門的知識の習得
- 指導方法の改善等を目指した情報交換
- 教育センターが公募した教育論文・マルチメディア教材の入賞作品発表や情報交換
- 研究協力校による実践発表
- 学校支援・振興プロジェクトの概要説明及び実践発表

<編集後記>

上に紹介しているように、2月14日(木)に第9回教育実践交流会を開催します。入賞論文・マルチメディア教材の表彰、発表をはじめとした、多彩な分科会を予定しています。年度末のお忙しい時期だとは思いますが、多くの先生方の参加をお待ちしております。詳しい内容については、教育センターHPの教育実践交流会の入り口からお入りください。申し込み締め切りは、2月1日(金)です。